NEWS

認知症 デイケア「すまいる」を ご存知ですか？

歳を重ねてなお、いきいきとした暮らしを送りたい。それは誰しもが持つあたりまえの思いです。２０４０年日本の認知症高齢者の数はおよそ４００万人に達し、８５歳以上では３人に１人が認知症となるといわれています。

デイケアすまいるは、認知症との診断を受けられた患者様のための医療保険適用のデイケアです。食事や入浴などの介護や、日常生活機能維持、回復のためのリハビリテーション等を日帰りでおこないます。ひきこもりの状態を避けることが、認知症の進行の予防、生活機能の改善につながります。「なじみの環境」に通い、各種プログラムを通じて楽しみや喜び、意欲をみいだしていくことで「その人らしい」安心できる満たされた暮らしがつくれるように、ともに取り組んでいきます。

認知症デイケアすまいる

新規利用者を随時受付けております。
見学や体験も歓迎いたします。お気軽にお問い合わせください。

直通 （076）231-4344
代表 （076）231-4138
開所日時：月～金（祝日を除く）午前9:00～午後4:00

多職種スタッフ体制の充実
（医師・看護師・介護福祉士・作業療法士・精神保健福祉士）

より充実したケアを目指します

アルコール（お酒）と薬の関係

お酒は疲れを癒し、人間関係を円滑にする潤滑油として人々の間に広く定着しています。ところがこのようにお酒の効用が認められている一方、アルコール依存症の広がりや未成年者飲酒の増加といった問題点が指摘されています。

適量のお酒は、人生の良きパートナーとなるものです。お酒とうまく付合合うには、お酒が本来有する特性と効用、マイナス面についてきちんと理解することが大切です。

お酒は飲み方を誤ると危険です。

アルコールは肝臓で分解され、主に尿中に排泄されます。飲み過ぎて肝臓で処理しきれなくなると二日酔いになったり、長い間には肝炎や肝硬変の原因ともなりかねません。

薬もまた肝臓で代謝されます。だから薬とアルコールを併用した場合、まずアルコールの分解が優先され、薬は分解されないまま長く血中に停滞します。そのために薬の作用が強まり、場合によっては昏睡や胃潰瘍など危険な状態になることがあります。

「少しくらいは大丈夫」といった軽い気持ちは大事故のもとです。くれぐれも注意が必要です。

睡眠薬、精神安定剤
意識がもうろうとしたり、あるいは異常に興奮したりすることがあります

降圧剤
血圧が一時的に下がりすぎてふらふらしたり、吐き気をもよおしたりすることがあります

血糖降下剤
血糖値が下がりすぎて、低血糖症状を引き起こすおそれがあります

これらの薬を服用している方は、お酒をひかえましょう。

その他の薬でも、作用が増強・あるいは抑制されることがありますので、詳しくは医師または薬剤師にお尋ね下さい。

薬剤課

「第14回 松原記念講演会」を開催しました

9月3日午後2時から金沢市文化ホールにおいて「第１４回松原記念講演会」が開催されました。

松原記念講演会は、松原病院の創始者である先代松原三郎を記念して、医療法人財団松原愛育会と松原三郎記念精神医学育成基金が主催し、平成４年から毎年行われています。講演会は精神保健や社会福祉に関する問題の中からテーマを選び、一般の方にも分かりやすく、かつ医療従事者も満足できるような講演会の提供をモットーとしています。

今回の講師は名古屋大学名誉教授笠原嘉（よみし）先生。わが国のうつ病研究の第一人者です。講演は「不安・ゆううつ・おっくう～中高年のメンタルヘルスのために～」と題して行われ、うつ病の兆候や対処法などが分かりやすく説明されました。

講師は心の疲れをダムの水に例え、「『水位が下がる』と、何ごとにも楽しめない状態になる。日常生活のささいなこと、テレビや雑誌、友人との会話などに、楽しむこと、笑うことが少なくなると、『ダムの水を満たす』ための休息やリフレッシュが必要になる。それには旅行やペットと遊ぶなど、ちょっとした脱日常が有効であり、また場合によっては専門医の診察を受けることも必要である。現在はよい薬も出ており、怖がらずに相談をしてみることが肝心である」と語りました。

ストレス社会といわれる世相を反映してか、予定定員を大きく上回る約４２０人の来場者があり、講師の身振りを交えた熱弁も相まって、熱気のこもった講演会となりました。

相談室へようこそ！

相談室はこんなところです

“あなたらしい生活を共に考え、共に取り組む”を大切に、相談員（ソーシャルワーカー）が、患者さま・ご家族の治療に伴う不安や生活上の困りごと、今後の生活の希望についてなど様々な相談をお受けしています。

相談室は本館1F社会復帰部にあります。

お気軽にお問い合わせください

時間：月～土曜　午前9時15分～午後5時15分

相談は無料です。
秘密は厳守します。

feature KANAZAWA

石引～御山まつり～

当院の住所である「石引」という地名は、１５９０年頃金沢城築城の際、この南東にある戸室山から良質の石材となる戸室石を曳いて運んだ経路にあったことに由来しています。そしてその歴史を再現する「御山まつり」は毎年9月後半に開催され、小立野・石引の通りを神輿が練り歩き、また「石曳き」の様子も再現されます。

御山まつりは今年は9月18日に行われました。朝8時20分頃に神輿が病院前に到着、例年のように山口院長をはじめ職員たちが館外へ出て祈願、奉納しました。